

ナラトリプタン錠 2.5mg「KO」

【この薬は？】

販売名	ナラトリプタン錠 2.5mg 「KO」 Naratriptan Tablets 2.5mg 「KO」
一般名	ナラトリプタン塩酸塩 Naratriptan Hydrochloride
含有量 (1錠中)	ナラトリプタン塩酸塩 2.78mg (ナラトリプタンとして 2.5mg)

患者向け医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、5-HT_{1B/1D} 受容体作動型片頭痛治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、セロトニン (5-HT) と呼ばれる物質のうちの 5-HT_{1B} と 5-HT_{1D} 受容体に選択的に作用し、頭痛発作時の拡張しすぎた頭部の血管を収縮させること、および神経末端からの炎症を起こす物質の放出を抑えることにより、片頭痛を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

片頭痛

- ・この薬は、量を加減せず、医師の指示に従って飲んでください。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にナラトリプタン錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・過去に心筋梗塞になったことがある人、虚血性心疾患であるかまたはその症状や兆候がある人、異型狭心症（冠動脈攣縮）がある人
- ・脳血管障害や一過性脳虚血性発作になったことがある人

- ・末梢血管障害がある人
- ・血圧管理が不十分な高血圧の人
- ・肝臓または腎臓に重度の障害がある人
- ・エルゴタミン、エルゴタミン誘導体含有製剤、あるいは 5-HT_{1B/1D} 受容体作動薬（ナラトリプタンと同じ作用の他の片頭痛治療薬）を使っている人
- ・家族性片麻痺性片頭痛、弧発性片麻痺性片頭痛、脳底型片頭痛あるいは眼筋麻痺性片頭痛の人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・虚血性心疾患の可能性のある人（例えば、虚血性心疾患を疑わせる重篤な不整脈がある人、閉経後の女性、40 歳以上の男性、冠動脈疾患になりやすい人）
- ・肝臓に障害がある人
- ・腎臓に障害がある人
- ・過去にスルホンアミド系薬剤で過敏症のあった人
- ・脳血管障害の可能性のある人
- ・てんかんあるいは痙攣を起こしやすい器質的脳疾患のある人
- ・血圧管理が十分行われている高血圧の人

○この薬には併用してはいけない薬 [エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン（クリアミン）、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩（ジヒデルゴット）、エルゴメトリンマレイン酸塩（エルゴメトリンF）、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（メテルギン）、スマトリプタンコハク酸塩（イミグラン）、ゾルミトリプタン（ゾーミッグ）、エレトリプタン臭化水素酸塩（レルパックス）、リザトリプタン安息香酸塩（マクサルト）] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の使用する量および回数は、次のとおりです。

1 回量	1 錠 (2.5mg)
使用回数	頭痛発作発現時に 1 錠 (2.5mg) を投与します。 効果が不十分な場合には、追加投与することができますが、前回の投与から 4 時間以上の間隔をあけてください。 ただし、1 日の総投与量を 5mg 以内としてください。

- ・この薬は頭痛発作発現時にのみ使用し、予防を目的として使用しないでください。
- ・この薬を使用しても全く効果が認められない場合には、他の原因による頭痛の可能性があるので、それ以上この薬を使用せず、医師に相談してください。
- ・肝臓または腎臓に障害がある人は、1 日の総投与量を 2.5mg としてください。

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●多く使用した時(過量使用時)の対応

頭部ふらふら感、頸部緊張、疲労、協調運動障害（思っていると通りの動作ができない、複雑な動作ができない）または血圧上昇があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用後、胸の痛みや胸の圧迫感などの一時的な症状があらわれることがあるので（強く咽喉頭の辺りまで症状が出る場合もあります）、これらの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・心血管系の病気がない人でも、心臓に重篤な障害が極めてまれに起こることがあるので、異常を感じた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・頭痛発現時あるいはこの薬を使用した後に眠気があらわれることがありますので、この薬を飲んでいる間は自動車の運転等危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・この薬を含むトリプタン系の薬により、頭痛が悪化することがあるので、この薬を使用しても良くならない場合には医師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシーショック	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
狭心症あるいは心筋梗塞を含む虚血性心疾患様症状 きょうしんしょうあるいはしんきんこうそくをふくむきょけつせいしんしっかんようしょうじょう	しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、冷汗が出る、息苦しい
薬剤の使用過多による頭痛 やくざいのしょうかたによるずつう	頭痛

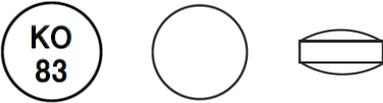
以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。

これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、冷汗が出る
頭部	めまい、頭痛
顔面	顔面蒼白
口や喉	喉のかゆみ

部位	自覚症状
胸部	動悸、息苦しい、しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ
手・足	手足が冷たくなる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹

【この薬の形は？】

PTP シート	
形状	円形のフィルムコーティング錠 
直径	7mm
厚さ	約 3.4mm
重さ	約 134mg
色	緑色
識別コード	KO83

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ナラトリプタン塩酸塩
添加物	結晶セルロース、D-マンニトール、クロスカルメロースナトリウム、黄色三二酸化鉄、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 400、酸化チタン、食用青色二号アルミニウムレーキ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：寿製薬株式会社 (<http://www.kotobuki-pharm.co.jp/>)

フリーコール：0120-996-156 FAX：0268-82-2215

受付時間：9時～12時、13時～17時（土、日、祝日、その他当社休業日を除く）